

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数「正多角形の性質を考えよう」（前年度の復習）
学年	小学校第6学年
目標	図形を構成する要素に着目し、プログラミングを通じた正多角形の書き方を発展的に考察したり、図形の性質を見いだしたりして、その性質を筋道を立てて考え説明する。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch3.0
環境	児童用ノート PC 18台を整備した PC 教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立千木良小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 めあてを確認しよう 「正多角形をかく方法を考えよう。」</p> <p>2 課題を確認しよう 正多角形の性質を元に、正方形や正三角形、正六角形、その他の正多角形を描こう。</p> <p>3 正多角形を作図するプログラムをつくりましょう。 ① ワークシートを使って、正方形を書く手順を確認しましょう。 ② Scratch を使って、正方形を書くプログラムを作成しましょう。 ③ 正三角形、正六角形、その他の正多角形をかいてみよう。</p> <p>4 まとめ 学習を振り返り、今日気付いたことを確認する。 □120° を入力すると、正三角形がかけた。 □いろいろな角度を入力して試してみると、だんだんとどのような動きになるのかわかってきた。</p>
成果と課題	<p>第6学年の「関係を見つけて」のプログラミング学習に入る前に、Scratch に慣れるために全学年の復習として「正多角形の性質を考えよう」の学習を行った。正方形、正三角形をえがくプログラミング方法を全体で確認した後、各自がいろいろな角度を入力するなど、数値を変化させて正多角形をえがいた。子どもたちは、試行錯誤しながら、正多角形がえがかれる仕組みについて学ぶことができた。</p>



図 作成するプログラム例